

令和2年4月8日

新入生保護者の皆様

仙台市立長町中学校
校長 今野 隆

第74回新入生保護者の皆様へ

新入生保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

この度は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、今年の2月頃からじわじわと新型コロナウイルスの脅威が、私達の身近に迫り、4月7日(火)、政府による緊急事態宣言が発出される事態となってしまいました。仙台市においても、心配で不安な日々が続いています。

このような中で、仙台市の方針によって、当初予定していた入学式の日程が1週間ずれこみ、4月16日(木)の開催となり、それに伴い学校再開も同様にずれこみました。この日程の突然の変更は、社会的お立場やご家庭でのそれぞれの事情がある保護者の皆様にとって、業務計画の変更、休暇の取得等を伴うものであり、大変な心労を与えてしまっているのではないかと危惧しているところです。本当に申し訳ありません。そして何より、新しい生活が始まろうとしているお子様方の心身の健康状態の維持や学習面に対する不安が大きいのではないかと思います。

4月3日の予備登校では、初めて登校してくる新入生が明るく学校生活を始められるように、オリエンテーションや入学式の予行等を丁寧に実施するつもりでございましたが、この仙台市で新型コロナウイルスの感染が拡大してきた時期と重なってしまいました。急きょ、校庭で間隔を空けて複数のボードを使用してクラス発表の掲示を行い、密集状態になるのを避けました。その後、体育館入り口で、担当教諭の声掛けで手指消毒を行い、間隔を空けて準備したパイプ椅子に着席させ、わずかな時間で説明を終えました。御家庭では、あまりに早い帰宅で驚かれたと思います。できるだけ配慮はしたつもりでおりますが、入学式を始めとして、様々な活動や行事が制約を受け、予定された事が十分に実施できない流動的な毎日です。

保護者の皆様が、小学校の卒業証書授与式に参列できず、お子様方と共に寂しい思いをされている事も承知しておりました。私達、長町中学校の卒業証書授与式も保護者の方々に参列していただくことができませんでした。義務教育最後の、そして最高の儀式であるはずの卒業証書授与式に参列がかなわなかった保護者の方々のお気持ちを考える時、今も、本校の教職員の多くは、気持ちの整理ができないしております。しかしながら私達を救い出してくれたのも、本来寂しい思いをしていたはずの保護者の方々の温かい励ましでした。「先生方、あまり気になさらないで下さい。」「式が終わって、子どもと一緒に写真撮影できただけで十分です。」等、本当に心温まるお声掛けやメッセージを多数いただきました。

残念で、寂しいお気持ちを心に閉まって、私達にその思いをぶつける事なく、長町中学校を後にした保護者の方々と同様、皆様もきっと、同じ気持ちで小学校の卒業証書授与式を終えた事と思います。そして今度は、新しい制服を着て入学式に臨むお子様方や保護者の方々の気持ちが少しでも明るくなり、希望を持っていただけるように、また、密集状態のリスクをできるだけ避けるために本校の入学式は、生徒、保護者の方々を入れ替え制で2回行うことにしました。四つのクラスを前半の部、五つのクラスを後半の部として、実施させていただきます。できるだけの対策を立てて、お迎えいたしますが、保護者の皆様にも何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。(明日には、また状況が変わっているかもしれません。本校のホームページで最新情報をご確認ください。)